

経営サプリメント

各方面の専門家によるビジネスに役立つエッセンス

秋田はチャンスに溢れる県

知り合いゼロから始める秋田生活

僕は、一部上場企業を辞め、東京から秋田に移住しました。当初は知り合いが一人もおらず、ほとんど無職に近いフリーランスで、週休5日の生活。まずは知り合いを一人でも作りたいと思い、色々な所に足を運びました。起業家交流会、アイデアソン、セミナー、youtubeチャンネル、ゲストハウスなどにかく仲間に出会えそうな場所を探し求めました。

自分を売り込むのは難しい。あれ？自分は何が出来るんだっけ？

その中で「何をやっている人なの？」と聞かれ、返答に困る自分がありました。企業ではプログラミングを人に教え、一通りのことが出来るつもりにはなっていたけれど、作品と呼べるものがなかったのです。人と出会う場では、自分を一言で紹介し、その場で見せられるものが必要であることを学び、その場に合わせた作品を持っていくことを始めました。

発信から生まれた出会い、作品が初めて仕事に繋がる瞬間

或るyoutubeチャンネルへの出演が決まった際に、そのチャンネルのキャラクターが登場するARアプリを持っていき、それがきっかけで少しずつ僕の状況は動き始めました。その場ではARアプリというものがそもそも「???」な雰囲気だったのですが、チャンネルの広報担当が収録後に声を掛けてきてくれました。「こんなものをパッと作ることが出来るなんて凄い！Webとかはできる？今、フリーランスを集めて企業に対応する秋田版のスキルシェアサービスを作りたいんだけど…」。秋田に来て初めて、自分を評価し期待してもらえたことが嬉しく、間もなくして、その彼と事業を始めることになりました。

秋田に眠るビジネスチャンス

初めは苦労しましたが、振り返ってみると秋田にはチャンスが溢れていると思います。以下は僕が思う秋田のビジネスチャンスです。

人と繋がりやすい

秋田ではどのような人がどのような場所に集まるのかが明確で、繋がりたいと思った人と繋がりがやすいことを、自身の経験から実感しています。Facebookや県や市のホームページを見てみると交流会やイベントが多数あり、足繁く通うと、どんどん繋がりを増やすことができます。SNSで気になる人には連絡をしてみると良いかもしれません。

慢性的に人手不足

秋田では、企業は「人手が足りない」と言い、働きたい人は「仕事がない」と言う不思議な現象が起こっています。届けたいターゲットに情報が届いていないことからのミスマッチングと推測しています。様々な場に足を運び、直接自分を売り込んでみると様々なチャンスが訪れるかもしれません。一緒に仕事をしたいと思う人がいたらすぐに名刺とSNSを交換して、自分が何者なのかスピーディに伝えましょう。

ICT化が遅れている

秋田のICT化は東京に比べ、著しく遅れています。特に企業のホームページを見ている時に感じるのですが、古臭いデザインで何年も更新されていなかったり、基本的なセキュリティ対応がなされていなかったりと、パッと見ただけで問題点が多数あり、形として存在するだけで全く機能していないものも多い印象を受け



PROFILE



秋田県よろず支援拠点コーディネーター
高崎 翔太 たかさき しょうた

FLITCH代表、ゲタバコ倶楽部代表。元々は臨床心理士で、のべ500人の子供たちに勉強やプログラミングを教えていた。2019年に秋田に移住してきてからはプログラミング教育、Web制作、ゲーム開発、3DCGなどなんでもこなす技術屋として活動する。

ます。僕はプログラミングが出来たので一層チャンスに恵まれることが多かったのですが、ホームページが気になる企業は他のICTに何かしらの課題がある可能性が高いので、比較的取り掛かりやすいSNSやGoogleDrive、画像、動画作成など細かなニーズに対しても、売り込みのチャンスだと感じています。

メディアに出演しやすい

移住してきてとても驚いたのですが、秋田はローカルなテレビ、ラジオ、新聞、雑誌などのメディア出演へのハードルが低いです。少し珍しい事業を始め、各メディアに売り込めば、かなりの高確率で何かしらのメディアに取り上げられます。ネットやSNSが中心となっている現代でもメディアによる拡散力は侮れず、ビジネスチャンスを拡大するには有効です。

創業系の補助が手厚い

秋田県内に限った話ではないかもしれませんが、自治体や商工団体等の補助や支援制度として、起業したいという時には半額以上の補助が受けられる可能性や、若者チャレンジ応援制度、各種ビジコン、無料で相談出来る場所もあります。これらに挑戦する過程で書類を作るうちにビジネスの内容も精査されていくので、挑戦することが大事です。恐れずに挑戦することは、それ自体が新たなチャンスを生み出します。

早急に解決が必要な社会課題が山ほどある

秋田には、がん、自殺、県民満足度、高齢化、若者の県外流出などワーストランキング上位の項目が多数あります。裏を返せばそれだけビジネスチャンスに恵まれていることに他なりません。もし困っている人が

全くいない世の中になったら…あらゆるビジネスは成立しなくなってしまいます。ビジネスの基本は誰かの困りごとに応えることですから。秋田を見てみると本当に困っていることだらけです。

自分がやりたいこと、好きなこと × 秋田の社会課題

を組み合わせ考えてみてはいかがでしょうか？それだけで、もしかしたら新しいアイデアが生まれるかもしれません。

僕たちの場合は、

人と繋がる、プログラミング × 秋田の若者の県外流出、低所得、ICT化

というわけです。

最後に

秋田に移住して2年弱が経ちました。初めは知り合いが一人もおらず、仕事も全然ありませんでした。それでも、

- ① 積極的に人と繋がること
- ② 自分を端的に説明する言葉と資料を用意しておくこと
- ③ 秋田に合わせたビジネスを考えること

をやり続けた結果、秋田で充実した時間を過ごしています。

「秋田には何もない」

僕が秋田でよく耳にする言葉です。でも僕は思います。それは見えただけで存在しないわけではない。自分から探しに行く、創出していく、そうした行動を起こしたらいつの間にか見えるようになるのだと思います。これからも秋田の良さを見つけていきたいです。